

#004 陶芸用電子機器・紫外線センサーの開発・製造・販売
「株式会社 アンテック」が考えること。



株式会社 アンテック

岡山県瀬戸内市邑久町豆田116-3

■創業 / 1991年9月1日

■事業内容 / 各種電子回路設計・ソフトウェア設計及び電子機器の保守
 自社商品の開発・製造・販売、他社電子機器の販売・保守、陶芸機器・材料の製造・販売

※上記写真は株式会社アンテック製造のAN5500 窯焚(かまたき)支援装置

代表取締役
末石 建二さん



大学卒業後、医療機器メーカーに入社。30歳の時に独立し、アンテックを創業。備前焼作家の知人から窯たきの手伝いを頼まれたのをきっかけに陶芸用の窯焚支援装置を開発。2002年からは美作大学の非常勤講師を務めている。



当社の経営理念

「わが社は炎を味方として文化を構築、炎を敵として文化を保守し、人類の豊かな暮らしと繁栄を電子技術で見つめます。」

当社は元々、陶芸用電子機器を製造している会社です。陶芸において、炎は必要不可欠なものです。しかし、炎は時として火災などを引き起こす原因ともなるのです。当社では、商品を通して「良い意味での炎」「悪い意味での炎」を上手く扱う魔術師のような役割を果たしていきたいという思いがあります。



**岡山や日本だけでなく
 世界を視野に入れた事業展開。**

「世界を視野に入れている」ということもあり、英語版の商品パンフレットも用意されている。現に、イギリスのIDRという雑誌に取り上げられたり、今年の1月には国際連合開発計画UNDP/DEVNET(スイス・ジュネーブ)にて展示会、5月末には国際会議NDNG2008(台湾)にも参加。



当社が目指す人材

現在、在籍しているスタッフは皆、自分が何をしたいかという目的意識をはっきりと持ったスタッフたちです。出勤日、勤務時間、休日等、会社として特に決めていくわけではなく、スタッフ各々が全て自己管理のもとに決めていきます。自分のやりたいことをやって収入を得るのが理想とすれば、その実現のために「これだけの覚悟をもって仕事に臨めるか? 苦しみ乗り越えていくか?」が必要となります。

あるスタッフは入社前に会社の問題点を話した時に「その問題点を自分に任せて欲しい、やりたい」と言いました。そうした自らの目標を設定し、挑戦できる人が当社にとって必要な人材です。自分の目標、夢を実現させるために仲間力を借りたり、仲間の夢を実現させる為に力を貸してあげたりと、各々が持つ技術を活かし合いながら企業も一緒に成長していることを目指しています。



当社のイチオシ!

当社の火災検知センサーは陶芸の窯たきの安全装置を開発するために必要だった炎と、太陽光の紫外線を見分ける機能が必要になり開発されました。

この商品で採用している紫外線検出方式は消防法に左右されないで、自由な発想で商品開発がおこなえた事もあり、完成してみれば世界最高水準の性能を最小サイズで実現する事が出来ていました。千葉の大型テーマパークなどの採用実績もある世界でオンリーワンの技術で作られたセンサーです。連続放火が続いた神石高原町や神戸市消防局などでも採用されています。仏壇専用のものでは、ロウソクの炎に反応しないように特殊フィルタを施しており、引火した炎のみ反応するようになっています。

また、独立行政法人物質・材料研究機構(茨城県つくば市)などと共に共同でダイヤモンド紫外線センサーを用いた火災検知システムの開発に世界で初めて成功しました。我々のこうした技術力は徐々に世界からも注目されるようになってきています。



当社の将来構想

陶芸にセンサー、当社をご存じない方から見ると二つの業務を並行して行っているかのように見えると思いますが、アンテックの基本は常に陶芸なんです。センサーもこの陶芸業界で培った技術から生まれたもので、セキュリティ的な商品としてはまだ3年ほどですがその技術は14年前、既に陶芸用の安全装置として確立されていたのです。センサーは市場性もあり莫大な利益を上げる可能性を秘めています。10年後、20年後は?と聞かれると見えない分、言葉に付きまします。これは最先端を歩むベンチャー企業の弱点とも言えることだと思っております。しかし、陶芸と言う業界は地元の備前焼でも既に2000年の歴史があり、例え百年後は?と聞かれても自信をもって「存在します」と答えることができます。

当社はベンチャー企業ですが、いずれベンチャーを脱して安定化を図らなければなりません。世界で注目を浴びるこのセンサーは近い将来、必ず高利益を生み出します。これを資本に全国展開を図り、陶芸業界でのナンバーワン企業を目指します。



左/標準温度計 右/放火センサー(紫外線センサー)
 (株)アンテックの商品のキーワードは「炎」。
 時には炎を味方とし作陶を支援し、時には炎を敵として火災から財産を守る。創造と守護のメーカーとして多くの人に愛される商品開発を目指している。